

1/2 超音波内視鏡 EB-710US 準備と点検

重要：このクイックリファレンスガイド（QRG）では、超音波内視鏡 EB-710US の準備と点検に必要な手順の簡単な概要を説明します。
詳しい手順については、取扱説明書（操作編）を参照してください。

⚠ 警告：点検で故障が見つかった場合は、使用を中止して営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

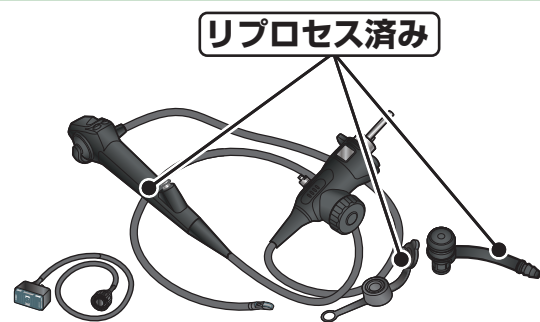
⚠ すべての手順を実行する必要がありますが、赤枠で囲まれた手順が非常に重要です。



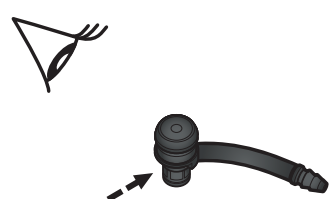
参照：
第 4 章

A. 関連機器を準備する

B. 吸引ボタンを取り付ける



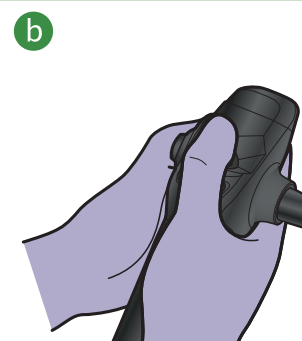
内視鏡、超音波接続ケーブル、吸引ボタン、鉗子栓を準備し、運搬します。



吸引ボタンに損傷がないことを確認します。

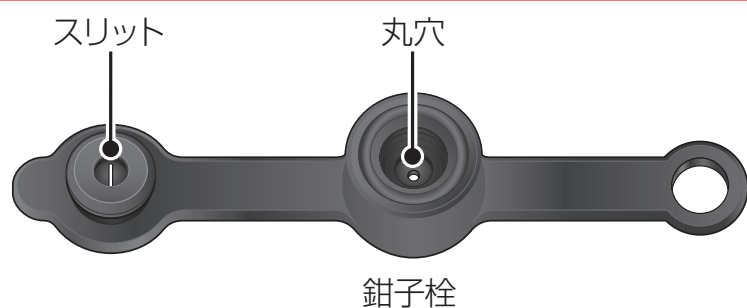


a 吸引シリンダーの溝部と吸引ボタンの吸引コネクタ部の向きを合わせます。

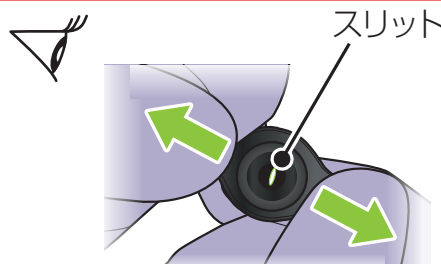


b 突き当たる位置まで吸引ボタンを両手で押し込みます。

C. 鉗子栓を点検する



鉗子栓



スリットと丸穴に損傷がないことを確認します。



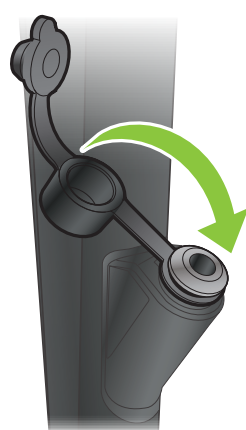
⚠ 警告：鉗子栓は、使用する前にリプロセスを行ってください。リプロセスが不適切な鉗子栓を使用した場合、感染の原因となるおそれがあります。
吸引ボタンと鉗子栓は、再使用禁止の製品です。使用後は廃棄してください。廃棄せず再使用すると、感染の原因となるおそれがあります。

D. 鉗子栓を取り付ける

FOV-BU1



a リングの部分を鉗子口に引っ掛けます。

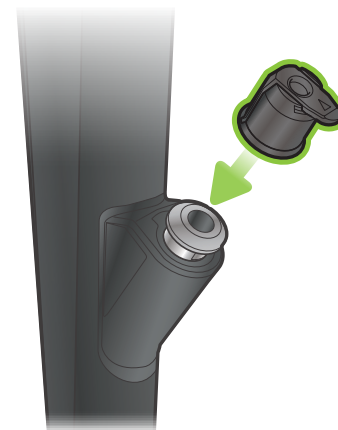


b 鉗子栓本体をかぶせます。

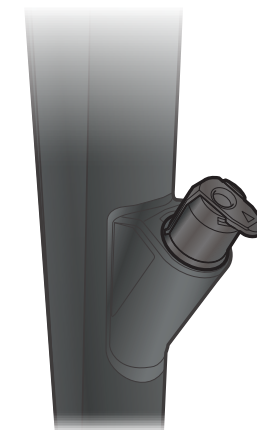


c フタを閉めます。

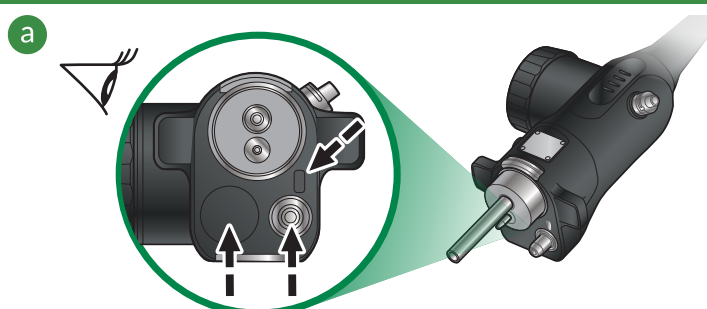
FV-003（別売品）



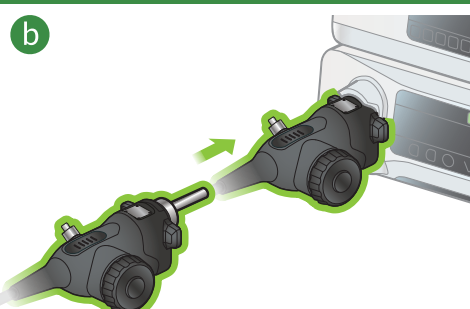
鉗子栓に損傷がないことを確認し、取り付けます。



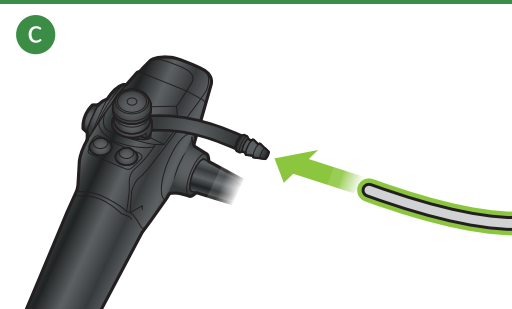
E. 内視鏡と光源装置および関連機器を接続する



a スコープコネクタに水分や異物がないことを確認します。

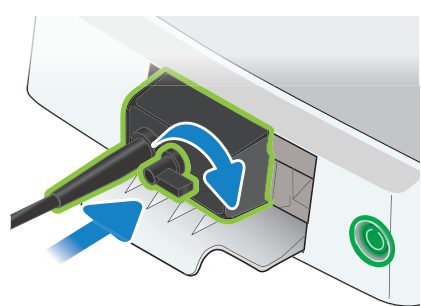


b スコープコネクタを光源装置に接続します。

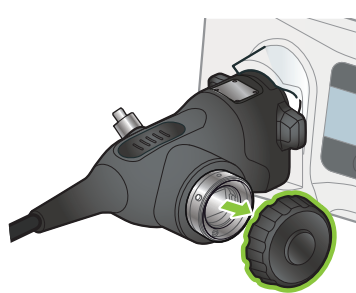


c 吸引チューブを取り付けます。

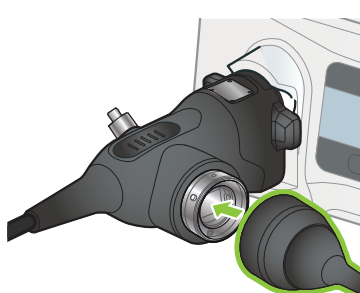
E. 内視鏡と光源装置および関連機器を接続する（続き）



超音波接続ケーブルの
観測装置側コネクタを
取り付けます。



防水キャップを取り外し
ます。



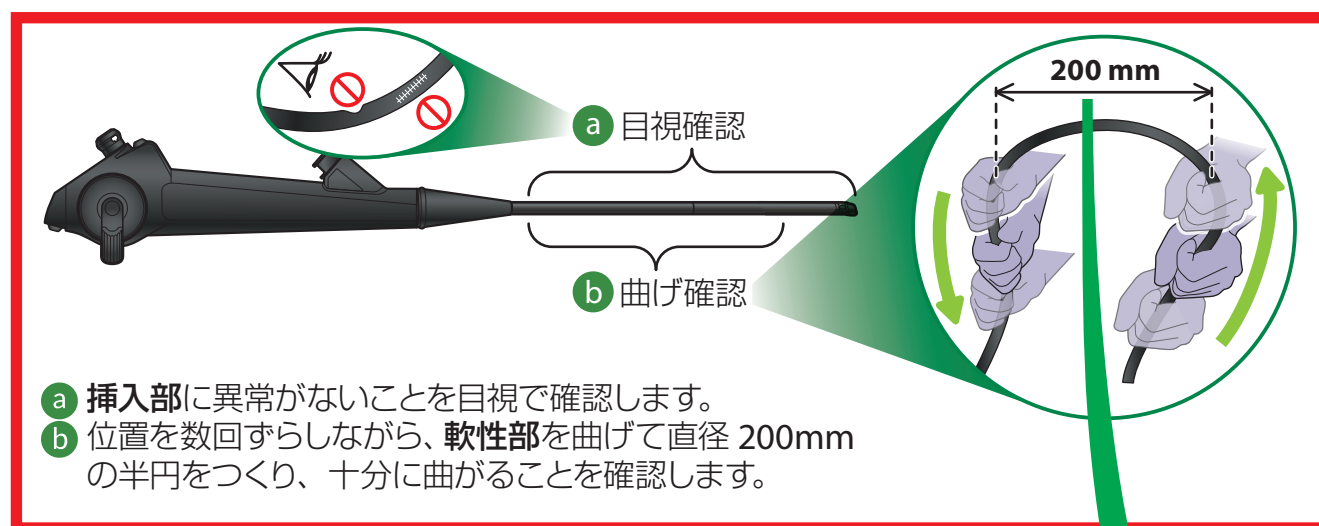
超音波接続ケーブルの
スコープ側コネクタを
取り付けます。

F. 先端部を点検する

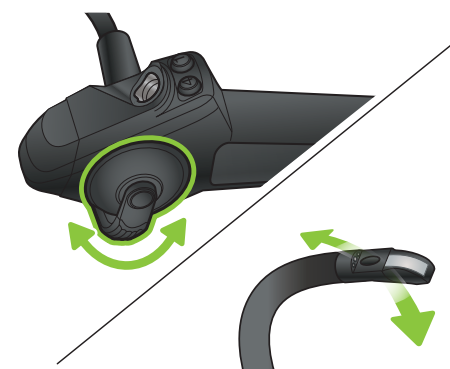


先端部、わん曲部（両端の樹脂含む）に
損傷や異物がないことを確認します。

G. 軟性部を点検する

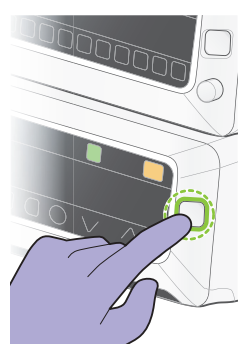


H. わん曲操作を点検する

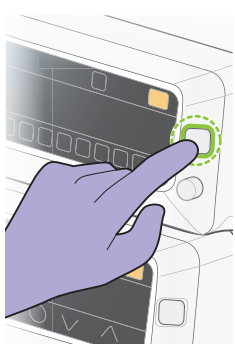


アングルレバーを操作し、わん曲部が
上下に動くことを確認します。

I. 内視鏡の機能を点検する



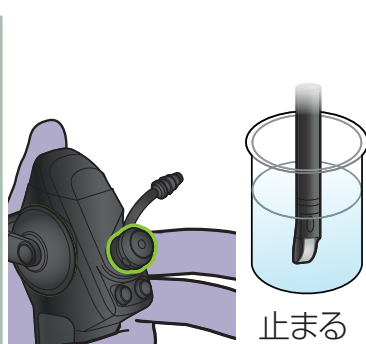
光源装置の電源
を入れます。



プロセッサー
の電源を入
れます。

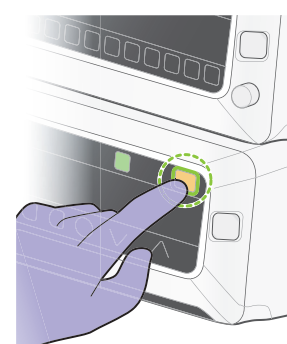


・吸引ボタンを押し込みます。
・滅菌水が吸引されることを
確認します。

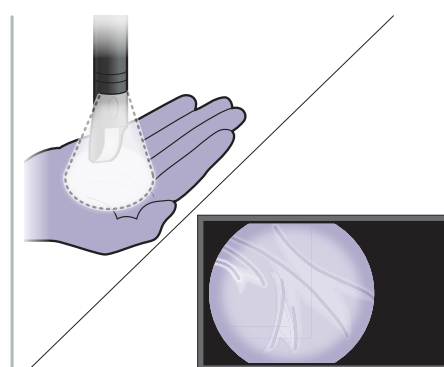


・吸引ボタンから指を離し
ます。
・吸引が止まることを確認
します。

J. 内視鏡画像と超音波画像を点検する



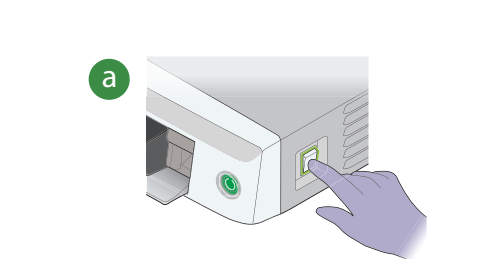
光源装置のライト
を点けます。



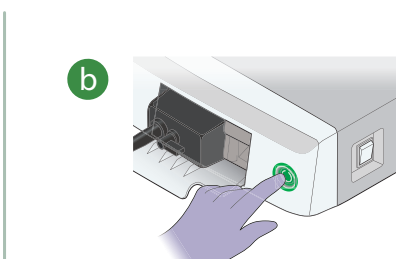
対物レンズを手のひらに向けて
モニターで画像を確認します。

⚠ 注意 ・吸引圧は、40 ～ 53kPa に設定してください。吸引圧が高すぎると、内視鏡が吸着して、粘膜が損傷するおそれがあります。
・レンズを点検する時は、光源のライトを消してください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。

J. 内視鏡画像と超音波画像を点検する（続き）



a 超音波観測装置の AC スイッチ
を入にします。



b 超音波観測装置のスタンバイスイッチ
を押して、電源を入れます。

超音波観測装置のキーボード



[FREEZE] キーを押して、
フリーズを解除します。



超音波画像に異常がないことを
確認します。